

令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス 評価票

魚津地域福祉事業所みんなのぼびいSUN

分類項目	No.	チェック項目	評価			ご意見	ご意見に対する回答など
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制設備	1	子どもの活動等のスペースが、十分確保されているか。	8	2	0	・放デイとしては十分だと思う。 ・運動したい時は交流センターやもくもくホールを利用している。	・人数を見て1階2階に分けて活動させたり、普段開放していない部屋をして広く使えるようにしている。
	2	職員の配置は適正であるか。	4	6	0	・手のかかる利用者が多くどうしてもマンツーマンになる場合があるので曜日によっては不足している。 ・職員が少なく思う時がある。	・普段は足りているが、マンツーマンの利用者が多い時は足りなく感じる時もある。
	3	事業所の設備等は、スロープや手摺の設備等、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	3	2	5	・一般の古民家を借りてるので段差がある。 ・バリアフリーにはなっていない。 ・段差は多いと思う。	・基本、知的障害の利用者が受け入れの対象のためバリアフリー化はほとんどされておらず、小さいお子様にとっては、段差が高い場所も多々ある。段差の周りにマットなどをひいて少しではあるが予防はしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定・振り返り)に、職員が広く参加しているか。	2	6	2	・職員会議で話し合っている。参加できなかった人には議事録を回覧してもらっている。 ・シフトの都合で全員出席は難しい。	・毎月、1回は職員会議を行っており情報共有をしている。
	5	保護者向け評価票を活用するなど、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか。	6	4	0	・評価表は、なかなか見ることがありません。	・アンケート実施直後は全体で目を通すが改善に向けて話し合いが十分にできていない。 ・業務改善につながる話し合いを職員会議で行うよう徹底していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6	2	2		・毎年、センター事業団北陸信越事業本部のホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	4	5	1	・第三者による外部評価をしていない。	・第三者委員による外部評価について相談していく。 ・第三者ではないが、同組織と毎年、相互監査は行い、改善はしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	4	0	・強度行動障害の研修にまだ、行ってない職員には毎年順番に受講させている。	・今後も資格取得や研修に積極的に参加できるようにしていきたいと思います。
適切な支援の提供	9	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか。	9	1	0		・その時に課題になっていることや成長が著しく見れるものを取り入れて作成しています。 ・ケア会議を行って課題、ニーズをまとめ作成するようしています。
	10	活動カレンダーが、固定化されてないか工夫しているか。	7	3	0	・年間である程度固定した方が良いと思います。	・マンネリしないようしているが、活動内容によっては固定化したものがあったらいいと思っております。
	11	放課後児童クラブや児童センター(児童館)との交流や、障害の無い子どもと活動する機会はあるか。	2	5	3	・トラブルなどが無いようにあえて一緒にはしないように考慮している。 ・なかなか難しい課題であると思う。	・障害の無い子供と交流するのは実行が難しい。 ただ、駄菓子屋へ買い物へ来た子供とあいさつを交わすなどのことは何度かしている。
保護者への説明	12	支援された内容・利用者負担等について、丁寧な説明がなされたか。	7	3	0	・契約時や計画書作成時に説明している。	・利用契約時に説明しています。
	13	学校との情報共有(年間計画・行事予定・下校時間・給食の有無・送迎時の対応・トラブル発生時の連絡等)や、連絡調整を行っているか。	6	2	2	・こちらからは学校迎え時などに伝えているが、学校側からは情報などほとんどない。	・学校迎えの時に情報共有をしているが、事業所から伝えることが多く、学校側からの情報はほとんどない。特別な事があった時は電話で連絡することがある。 ・ケア会議等を行い情報共有している。
	14	日頃から、子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況・課題について、共通理解ができているか。	9	1	0	・時など、保護者の方と会える時に少しでも会話で伝えるようにしている。 ・連絡帳でやり取りしている。	保護者と直接会える時は、少しでもぼびいSUNでの様子を口頭で伝えるようにしている。特記事項などがある場合は連絡帳に詳細を書いている。
	15	保護者に対して、面談や育児に関する助言等の支援が行われているか。	8	2	0	・計画書作成時など面談を兼ねて話をする時がある。 ・ケア会議に参加して悩みや困りごとに対して助言等を行っている。	・計画書作成時などに説明を兼ねて面談を行っている。 ・ご相談があればいつでも話を聞けるように環境を整えていく。
	16	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の連携が支援されているか。	1	3	6	・保護者の方の要望が有るか無いか不明。 ・コロナ禍での開所となったためまだ、行ってない。何かイベントと繋げてえがおのぼびいと共に開催できたらと思っている。	現在はまだ、保護者会等は行えておらず、今後保護者参加のイベント等をえがおのぼびいと共に考え開催したいと思っています。
	17	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情が有った場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	6	4	0	・なるべく早く職員間で情報を共有し解決策などを考えている。	・苦情についての対応の体制を図式化して玄関に掲示してある。
	18	子どもと保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮がなされているか。	6	4	0	・保護者と話してもその後そのままなことがある。 ・重要な事は直接言うようにしている。	・なるべく、互いに意見を言い情報共有できる環境を整えていきたい。 ・意思の疎通がしやすいように個室を設けている。

説 保 明 護 者 へ の	19	定期的に会報やホームページ等で、活動概要・行事予定・連絡体制・業務に関する自己評価の結果等の情報を、子供や保護者に対して発信しているか。	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2～3回ほどほびいだよりを作り配布している。 ・長期休業時は行事予定表を配っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回(長期休み後)にみんなのほびいSUNだよりを作成し配布しています。
	20	個人情報に、十分注意しているか。	8	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も十分に気を付けて扱っていきます。 ・個人情報の守秘義務について職員研修を行う。
非 常 時 の 対 応	21	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し、保護者に周知・説明されているか。	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・能登地震後に緊急対応マニュアルを配布した。 	BCP(事業継続計画)に基づき周知していきます。
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他の訓練が行われているか。	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回避難訓練をしている。 	今後は事業所だより等に訓練した内容等について載せていく。
	23	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最低年1回は研修等を行っている。 	今後も年1回は必ず研修等を行っていきます。
	24	どのような場合に「止むを得ず身体拘束を行うか」について組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時に説明して書面でもサインをいただいている。 	利用契約時に説明し書面にサインをいただいています。万が一身体拘束を行った場合は、直接、又は電話でご説明させていただきます。
	25	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートに書いてあるとがある。 ・事例集を作成した方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告書はあるので、今後職員会議等でヒヤリハットについて話し合っって見解を広げていく。 ・ヒヤリハット報告があったら職員間で周知再発防止に努めていく。